令和６年４月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和６年３月２２日（金）
２．開 催 日 時　令和６年４月２４日（水）　１４時３０分～１５時４５分
３．開 催 場 所　駐健保会館　４Ｆ　中会議室［東京都港区芝３－４１－８］
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１３人（本人出席１３人）
７．出席監事数　３人（本人出席　３人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、上島　健、
川崎 一郎、横山 聡洋、秦　研二、藤田 亮則、川村 道夫、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
熊木　宏、近藤 恭二、山口 直延
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　賛助会員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、賛助会員１社から２月に脱退届を受理し脱退手続きを行ったことの報告があり、３月末で組合員数７８社、賛助会員数４１社、計１１９社になることの説明があった。

賛助会員：株式会社三水化学 神奈川営業所　代表取締役　頭師 彰宏

嶋崎議長から、組合の委員会や講習会やその他活動に参加していない組合員及び賛助会員に対して組合活動を周知して参加するように働き掛けをして欲しいことと組合員と賛助会員の増員についても協力要請があった。

嶋崎議長は、賛助会員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　第５３回通常総会について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、開催日時、場所、当日のスケジュール及び提出議案等について説明があった。

第５３回通常総会　令和６年５月２１日（火）１４：１０～１５：３０、帝国ホテル東京

続いて、提出議案について第５３回通常総会資料案に基づき、第１号議案令和５年度事業報告承認の件、第２号議案令和５年度決算関係書類承認の件、第３号議案令和６年度事業計画案及び令和６年度収支予算案、経費賦課および徴収方法の件、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員補充選挙の件を上程することと総会終了後に賛助会員 PR 会と懇親会を予定していることの説明があり、まず第１号議案、第２号議案及び剰余金処分案についてそれぞれ詳細な説明があった。

熊木監事から、本日（４月２４日）午前に行われた令和５年度監査会の結果について適正に執行されていた旨の報告があった。

嶋崎議長から、創立５０周年記念誌の作成がずれ込んだことと諸物価の高騰に伴う会場費の値上げや講習会等の参加者の減少により、マイナス決算になってしまったことの説明があった。正副理事長で検討した結果、今後はイベントの際の会場や参加費の見直しや会議の開始方法等を検討して経費を抑えたいと述べられた。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第３号議案令和６年度事業計画案、令和６年度収支予算案及び経費賦課および徴収方法について説明があった。

後藤理事から、前年予算に対しての決算を見て、マイナス要因を整理して、次年度予算を立てるべきであると意見があり、安室専務理事からマイナス要因（総会費用、講習会会場費用の増と受講者減、記念誌作成費用等）について説明があった。

玉木副理事長から、昨年度から総会会場費の削減のために何箇所も見積りを取ったが、１５０～１７０万円の金額幅であったことの報告があり、コロナ前は参加費収入と会場費が同等で上手く回っていたが、現在どこの会場も値上げをしていることの説明があった。同日開催している正副理事長会や理事会を止めれば、その分の会場費を削減できることと参加人数が不確定要素なので、参加費の値上げを行うことで収入と支出の両面で対応したいことと講習会についても３ヶ月前に日程を確定して行政運営の会場を予約するとか、時間貸しのレンタルルームを利用するとかを検討していることの説明があった。

嶋崎議長から、削減できるところは行って運営したいことと１０年２０年先を見越して一時的に費用は掛かっても事務所の移転も検討して行かなければならない旨述べられ、意見が求められた。

田村理事から、教育事業の関係で講習会をハイブリッド型で行うには会場費が掛かるが、受講料を見合った金額に変更することが必要であると意見があった。

嶋崎議長から、総会や新年賀詞交歓会の懇親会参加費も見直す必要があると考えていると述べられた。

田村理事から、懇親会に招待する来賓の人数も絞ることと職員の賃上げ分の捻出も検討する必要があると述べられた。

嶋崎議長から、賦課金の見直しについては、最後の最後に考えたいと述べられた。

検討した結果、総会及び新年賀詞交歓会の懇親会参加費を２万円に値上げし、来賓の人数の見直しと同日開催している正副理事長会や理事会を見直すことで、予算案の修正を行うことになる。

田村理事から、参加費無料で行っているマーケティング委員会の価格交渉サポートセミナーなどについて会場費用の補填をするために参加費２０００または３０００円を徴収しても良いのではないかと意見があり、川村理事から、セミナー・講習会費用として５０００円以下であれば安いので、問題ないと意見があった。

南副理事長から、各委員会が主催しているセミナーについても本人の経験や情報共有に繋がると意見があった。

田村理事から、セミナーや講習会を開催するにあたり、関係官庁の助成金や施設の貸し出しなどについても情報収集することの提案があった。

嶋崎議長から、今年度は黒字決算になるように運営していくと述べられた。

続いて嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案役員補充選挙の件ついて説明があった。

最後に総会終了後に賛助会員 PR 会（東和興産株式会社、株式会社 NC ネットワーク、大陽日酸株式会社）行い、１７時から懇親会を予定していることの説明があった。

嶋崎議長は、第５３回通常総会について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　令和６年度行事予定について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき令和６年度の行事予定について報告があった。

理事会は、年６回予定になっているが、５月２１日の通常総会前の理事会開催を無しにして、７月１７日（Web開催）、９月２０日（対面開催）、１２月１１日（Web開催）として、それ以降は別途調整することになる。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、３月４日に開催された令和５年度第３回青年部会について、議事録に基づき説明があった。Web開催とし、関東経済産業局から麻生課長の参加があったことの報告があった。主な内容については以下の通り。

①関東経済産業局から補正予算等情報提供（中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金、中小製造業の方にご活用いただける主な支援施策について）、
②令和６年度の活動計画について（１．講演会・セミナーの開催、２．熱処理業界のPR、３．関東経済産業局との連携、４．メンバーからの提案の４つの柱の基本方針について）、
③最近の状況を含めた市場動向について

熱処理業界のPRとして西部金属熱処理工業協同組合で行っている「出前授業」を東部でも取組むことになり、山田部会長が近隣の高校（東京都立多摩工科高等学校）に打診したところ前向きな回答があり、７月に学校に対してプレゼンを行い、１０月または１１月に１年生に「出前授業」を行う計画となり、６月の青年部会でプレゼン資料について検討することになっていることの説明があった。

１０月３０、３１日開催の「組合まつり」については、実習を取り入れて熱処理を感じてもらう内容で検討することになっていることの説明があった。

後藤理事から、山形県に対して以前から「出前授業」による業界PRの件を打診していたところ、先方から前向きな回答があったので、資料の提供について検討して欲しいと意見があった。

嶋崎議長から、業界の認知度を図るのは、人材確保にも繋がるので組合の大事な事業として捉えて進めて行きたいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、２月１３日開催のマーケティング委員会について議事録等に基づき説明があった。委員会の主な内容については、①第６回価格交渉サポートセミナーについて（内容及びアンケート結果等）、②令和６年度の事業計画について（年５回開催、価格交渉サポートセミナーの開催等）、③売上高調査結果及び自主行動計画フォローアップ調査結果、④市場動向に関する情報交換について。

続いて２月１４日開催の第４回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、報告があった。主な内容については、①能登半島地震の安否確認について（アンケート結果、事務局からの連絡時期）②事業継続計画書について、③協定書（情報共有）のひな型について、④令和６年度事業計画案について、⑤災害発生時の支援方法について。

３月８日開催の第４回総務委員会について報告があった。主な内容としては、①２月２日開催の第３回 SDGs セミナーについて（アンケート結果、今後の取組について）、②組合まつりの YouTube 動画について（組合 HP への掲載）、③令和６年度の事業計画について（年４回開催、SDGs に関すること、カーボンニュートラルに関すること、人材不足と雇用について）、④日本金属熱処理工業会「外国人技能実習制度について」

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、４月１日付けの関係官庁の人事異動について報告があった。

南副理事長から、東部が幹事で行う日熱会（１０月３日、４日）の予定について説明があり、景品の協賛協力の要請があった。

安室専務理事から、（一社）日本金属熱処理工業会から「価格転嫁促進に向けた取組に関するお願い」について説明があり、ゴールデンウイーク明けに組合員に配布することになる。

嶋崎議長から、商工ジャーナル２月号に掲載された組合の記事について組合 HP に掲載することの許可が下りたので、準備を進めたいと説明があった。

玉木副理事長から、台湾での地震に対して時期が遅れてしまったが、交流のある台湾金属熱処理学会にお見舞金（１０万円）を贈呈したいことの説明があり、了承された。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和６年４月２４日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

出席理事　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞